

4 施策の展開

【施策①】 産業人材の育成・確保

【基本的考え方】

- ・ 人口減少・少子高齢化が進行する中、本県産業の活力向上を図るため、高卒人材の着実な県内定着を図りつつ、県内外の大学生等の県内就職を促進する。
- ・ 県内産業を支える労働力を確保するため、女性や高齢者、障がい者の雇用の促進を図るとともに、外国人の雇用を進める企業を支援する。
- ・ 「地方創生」における地方への人材還流の方向を踏まえ、産業振興と企業誘致により県内の雇用の受け皿の拡大を図りつつ、県外在住者の県内へのU・Iターンによる就職をより一層促進する。
- ・ 未就職者の早期の就職を実現するため、雇用につながるスキルの向上を、県内企業のニーズも踏まえて支援していく。
- ・ 県内企業と求職者の双方のニーズに適合した安定的な雇用の実現に向け、離転職者の職業能力開発や雇用のマッチングに向けた相談・支援を行うとともに、県内産業や企業への理解を深める取組みを進める。
- ・ 生産性の向上や成長分野を担う高度な人材の育成に向けて、企業在職者の人材育成を支援する。

(1) 若者の県内定着・回帰、U・Iターンの促進

◎ 若者の県内就職に向けた県内企業の認知度向上

(施策の展開方向)

- ・ 若者等に対して県内産業や企業、就職等に関する情報を発信するほか、企業説明会の開催、学生と県内企業とのマッチング、県外から県内企業への就職活動を行う若者等の経済的負担の軽減などにより、県内外の若者等の県内就職を促進する。
- ・ 県内企業に若者が希望をもって就業するよう、企業の魅力や採用力の向上を図る。
- ・ 大学、高等専門学校の新卒者の大部分が県外に就職している状況にあることから、若者や女性、Uターン者、大卒者等の受け皿となる企業の本社機能・研究開発機能等の積極的な誘致を推進する。

《主な取組内容》

- ・ 山形県就職情報サイトによる県内企業や求人、インターンシップ等に関する情報の発信
- ・ 「ものづくりヤマガタ情報サイト」による、若者や女性等をターゲットとした本県製造業の魅力発信の強化
- ・ 主に首都圏への進学者を対象とする、県内企業による説明会の開催
- ・ 子どもや就職前の若者とその保護者や教師に対して県内企業の魅力を伝え、認知度の向上を図る取組みの実施

- ・ Uターン情報センターや県外事務所によるU・Iターン希望者の県内企業への就職に向けた支援
- ・ 県内で就業する若者の就職活動やインターンシップに係る経費や奨学金の返還等に対する支援
- ・ 求職者に訴求する企業の魅力等の情報発信力強化への支援
- ・ 県内企業における県内外の大学生等のインターンシップの促進
- ・ 政府の地方拠点強化税制や本県の補助制度等を活用した企業の本社機能や研究開発機能等の誘致強化

◎ 女子学生等の県内就業の促進に向けたアプローチの強化

(施策の展開方向)

- ・ 県内企業で女性がいきいきと働く姿などの情報を発信して、女性の県内ものづくり企業への就職を促進する。

《主な取組内容》

- ・ 県内企業で女性がいきいきと働く姿などの情報の発信

◎ 雇用に関する相談とマッチング等の支援

(施策の展開方向)

- ・ 山形県若者就職支援センター、山形県求職者総合支援センターにハローワークを加えたワンストップ相談窓口「トータル・ジョブサポート」による総合的な就職支援を行う。
- ・ 県外在住者に対するU・Iターンのための情報提供、U・Iターン希望者に対する県内企業への就職支援を行う。
- ・ インターネットを活用した情報提供により、U・Iターン希望者と県内企業とのマッチングの支援を行う。

《主な取組内容》

- ・ 若者を対象とした面接指導やキャリア・カウンセリングの実施
- ・ 就職に関連する生活相談（住宅、生活資金など）への対応
- ・ 多様な課題を含む就職雇用相談に対する複数の支援機関が連携した支援の実施
- ・ Uターン情報センターや県外事務所によるU・Iターン希望者の県内企業への就職に向けた支援（再掲）
- ・ 「やまがた21人財バンク」の運営を通じた、U・Iターン希望者と県内企業双方への情報提供とマッチング支援

◎ 若者の離職防止等の定着支援

(施策の展開方向)

- ・ 非正規雇用労働者の正社員化や労働者の所得の向上を促進する。
- ・ 多様で柔軟な働き方を選択できる職場づくりを促進する。
- ・ 新しい発想と意欲を持ちチャレンジ精神豊かな若者や女性等の創業を促進する。
- ・ 子どもや就職前の若者が県内産業や企業を知る機会の充実を図るとともに、保護者に対する情報の提供を行う。
- ・ 企業経営者の若者への理解を促進する。
- ・ 地域における新入社員世代の交流を図り、早期の離職を防止する。

《主な取組内容》

- ・ 非正規雇用労働者の正社員化や労働者の所得の向上を促進する企業への支援
- ・ 正社員転換を希望する非正規雇用労働者への支援
- ・ 社会保険労務士等が企業訪問し、正社員化・所得向上に資する指導・助言を実施
- ・ 社会保険労務士等が企業訪問し、多様で柔軟な働き方の普及啓発・助言を実施
- ・ 「WEB 労働やまがた」による多様で柔軟な働き方の先進事例の発信強化
- ・ 若者や女性等の創業を支援する融資制度や事業立上げを支援する創業助成金等の拡充
- ・ 「ものづくりヤマガタ情報サイト」による、若者や女性をターゲットとした本県製造業の魅力発信の強化（再掲）
- ・ 子どもや就職前の若者とその保護者や教師に対して県内企業魅力を伝え、認知度の向上を図る取組の実施（再掲）
- ・ 県内企業における県内外の大学生等のインターンシップの促進（再掲）
- ・ 企業経営者に対する若者の考え方についての理解を促進
- ・ 地域単位の入社3年目までの社員の交流会の開催

◎ U・Iターンの促進

(施策の展開方向)

- ・ 県外在住者に対するU・Iターンのための情報提供、U・Iターン希望者に対する県内企業への就職支援を行う。（再掲）
- ・ U・Iターン者による創業を促進する。
- ・ 首都圏での本県への就職支援の窓口となるUターン情報センターと、移住支援の窓口となるハッピーライフ情報センターの連携による利用者ニーズを踏まえた支援を行う。

《主な取組内容》

- ・ 「やまがた21人財バンク」の運営を通じた、U・Iターン希望者と県内企業双方への情報提供とマッチング支援（再掲）
- ・ 県内企業就職ガイダンスの開催等による、県外在住者の県内就職へ向けた支援
- ・ 県内企業への就職活動やインターンシップを行う若者等への経済的支援（再掲）
- ・ 本県での創業に向けた首都圏での説明会や先輩創業者との交流会の実施
- ・ U・Iターン者向けの創業支援の実施

- ・ 移住コンシェルジュ（本県への移住相談に対応する専任職員）との連携、ハッピーライフ情報センターにおけるUターン情報センター機能提供による支援の実施
- ・ Uターン情報センターや県外事務所によるU・Iターン希望者の県内企業への就職に向けた支援（再掲）
- ・ 大学等進学希望者の情報を登録し、就職活動の時期に合わせた情報提供の実施
- ・ 首都圏等の大学等との就職促進協定を締結のうえ、県出身在学生に対するUターン就職に関する情報の提供

◎ 小学・中学・高校の段階に応じた県内就職の意識づけ

（施策の展開方向）

- ・ 若者等に対して県内産業や企業、就職等に関する情報を発信するほか、企業説明会の開催、学生と県内企業とのマッチング、県外から県内企業への就職活動を行う若者等の経済的負担の軽減などにより、県内外の若者等の県内就職を促進する。（再掲）
- ・ 小学・中学・高校在学中に県内のものづくり企業等の情報を提供する。

《主な取組内容》

- ・ 「やまがたものづくりガイドブック」等による小学・中学・高校の段階に応じたものづくりに関する県内企業情報の提供
- ・ 山形県就職情報サイトによる県内企業や求人、インターンシップ等に関する情報の発信（再掲）
- ・ 「ものづくりヤマガタ情報サイト」による、若者や女性等をターゲットとした本県製造業の魅力発信の強化（再掲）
- ・ 子どもや就職前の若者とその保護者や教師に対して県内企業魅力を伝え、認知度の向上を図る取組の実施（再掲）

項目	主な取組内容	R2	R3	R4	R5	R6
若者の県内就職に向けた県内企業の認知度向上	山形県就職情報サイトによる県内企業や求人、インターンシップ等に関する情報の発信					→
	主に首都圏への進学者を対象とする、県内企業による説明会の開催					→
	県内企業における県内外の大学生等のインターンシップの促進					→
	若者や女性等をターゲットにした県内製造業の魅力発信					→
	若者や女性、首都圏からのUターン者等の受け皿となる企業の本社機能・研究開発機能の誘致促進					→

女子学生等の県内就業の促進に向けたアプローチの強化	県内企業で女性がいきいきと働く姿などの情報の発信					→	
雇用に関する相談とマッチング等の支援	若者を対象とした面接指導やキャリア・カウンセリングの実施					→	
	就職に関連する生活相談（住宅、生活資金など）への対応					→	
	多様な課題を含む就職雇用相談に対する複数の支援機関が連携した支援の実施					→	
若者の離職防止等の定着支援	非正規雇用労働者の正社員化や労働者の所得の向上を促進する企業への支援					→	
	正社員転換を希望する非正規雇用労働者への支援					→	
	社会保険労務士等が企業訪問し、多様で柔軟な働き方の普及啓発・助言を実施					→	
	子どもや就職前の若者とその保護者や教師に対して県内企業の魅力を伝え、認知度の向上を図る取組みの実施					→	
	企業経営者に対する若者の考え方についての理解を促進、地域単位の入社3年目までの社員の交流会の開催					→	
U・Iターンの促進	「やまがた21人財バンク」の運営を通じた、U・Iターン希望者と県内企業双方への情報提供とマッチング支援					→	
	県内企業への就職活動やインターンシップを行う若者等への経済的支援					→	
	Uターン情報センターや県外事務所によるU・Iターン希望者の県内企業への就職に向けた支援					→	
小学・中学・高校の段階に応じた県内就職の意識づけ	小・中・高の段階に応じたものづくりに関する県内企業情報の提供	「やまがたものづくりガイドブック」の配布					→

(2) 外国人材を含めた多様な人材の活躍促進

◎ 女性や高齢者の活躍促進

(施策の展開方向)

- ・ 女性や高齢者が働きやすく活躍できる雇用環境の整備を促進するとともに、多様な就業の機会を確保する。
- ・ 新しい発想と意欲を持ちチャレンジ精神豊かな女性の創業を促進する。

《主な取組内容》

- ・ 女性や高齢者が働きやすく活躍できる雇用環境を整備するため、多様で柔軟な働き方の導入など、企業側の体制整備を促進
- ・ コーディネーターの企業訪問による女性の就業環境の改善促進と雇用機会の確保
- ・ 山形県就職情報サイトによる県内企業や求人、インターンシップ等に関する情報の発信（再掲）
- ・ 若者や女性等の創業を支援する融資制度や事業立上げを支援する創業助成金等の拡充
- ・ 高齢者雇用確保措置（①定年の引き上げ、②継続雇用制度の導入、③定年の廃止のいずれか）等、高齢者の就労促進に係る制度の周知徹底
- ・ コーディネーターの企業訪問による高齢者の雇用機会の確保
- ・ 県内事業所のニーズに合わせたシルバー人材センターの業務の拡大
- ・ 「ものづくりヤマガタ情報サイト」による、女性等をターゲットとした本県製造業の魅力発信の強化（再掲）
- ・ 女性向けや、女性も利用しやすい職業訓練の実施

◎ 障がい者の雇用の促進

(施策の展開方向)

- ・ 障がい者向け職業訓練の実施や、企業における障がい者の雇用拡大に関する普及啓発を行うことにより、意欲ある障がい者の雇用の促進を図る。

《主な取組内容》

- ・ 障がい者向け職業訓練の実施
- ・ 障がい者雇用に積極的な企業の認定、県ホームページ上での認定企業の取組みの紹介
- ・ 障がい者支援機関と連携のうえ、先進的な障がい者雇用を実施する事業所の見学会等の実施

◎ 外国人材（就労目的の在留資格）の活用

（施策の展開方向）

- ・ 外国人材を雇用するための知識の普及啓発を行う。
- ・ 外国人材の雇用を希望する企業からの相談への対応を行う。

《主な取組内容》

- ・ 外国人材を雇用するための知識の普及啓発
- ・ 外国人総合相談ワンストップセンター等による企業向け相談体制の充実

◎ 就職に向けたスキルアップの支援

（施策の展開方向）

- ・ 雇用情勢及び地域産業の多様な人材ニーズに的確に対応し、求職者が就職に必要な技能及び知識を習得するため、民間教育訓練機関を活用した訓練機会を提供する。
- ・ 地域産業のニーズに対応し、県立職業能力開発施設において実践的技術者等を育成していく。

《主な取組内容》

- ・ 県、労働局及び（独）高齢・障害・求職者雇用支援機構と連携し、民間教育訓練機関の機動性を有効活用した委託訓練の実施
- ・ 県立職業能力開発短期大学校（産業技術短期大学校及び同庄内校）、県立職業能力開発校（山形職業能力開発専門校及び庄内職業能力開発センター）における、技術動向や地域産業のニーズを踏まえた高度又は専門分野の職業訓練の実施

◎ 雇用に関する相談とマッチング等の支援（再掲）

（施策の展開方向）

- ・ 山形県若者就職支援センター、山形県求職者総合支援センターにハローワークを加えたワンストップ相談窓口による総合的な就職支援を行う。（再掲）
- ・ 県外在住者に対するU・Iターンのための情報提供、U・Iターン希望者に対する県内企業への就職支援を行う。（再掲）
- ・ インターネットを活用した情報提供により、U・Iターン希望者と県内企業とのマッチングの支援を行う。（再掲）

《主な取組内容》

- ・ 若者を対象とした面接指導やキャリア・カウンセリングの実施（再掲）
- ・ 就職に関連する生活相談（住宅、生活資金など）への対応（再掲）
- ・ 多様な課題を含む就職相談に対する複数の支援機関が連携した支援の実施（再掲）
- ・ Uターン情報センターや県外事務所によるU・Iターン希望者の県内企業への就職に向けた支援（再掲）
- ・ 「やまがた21人財バンク」の運営を通じた、U・Iターン希望者と県内企業双方への情報提供とマッチング支援（再掲）

項目	主な取組内容	R2	R3	R4	R5	R6
女性や高齢者の活躍促進	コーディネーターの企業訪問による女性・高齢者の就業環境の改善促進や雇用機会の確保					→
障がい者の雇用の促進	障がい者向け職業訓練の実施					→
	障がい者支援機関と連携のうえ、先進的な障がい者雇用を実施する事業所の見学会等の実施					→
外国人材（就労目的の在留資格）の活用	外国人材を雇用するための知識の普及啓発		→			
	外国人総合相談ワンストップセンターによる企業向け相談対応の実施					→
就職に向けたスキルアップの支援	求職者に対する民間教育訓練機関活用した職業訓練の実施					→
	県立職業能力開発施設における技術動向や地域産業のニーズを踏まえた高度又は専門分野の職業訓練の実施					→
雇用に関する相談とマッチング等の支援（再掲）	若者を対象とした面接指導やキャリア・カウンセリングの実施					→
	就職に関連する生活相談（住宅、生活資金など）への対応					→
	多様な課題を含む就職相談に対する複数の支援機関が連携した支援の実施					→

（3）専門性の高い人材の育成・活躍の場の創出

◎ 若い世代に対する技能の承継

（施策の展開方向）

- ・ 本県産業において重要な役割を担うものづくり産業を未来へ発展させていくために、山形のものづくりの技を未来につなぐ人材の育成を、ライフステージに応じて進める。
- ・ 就職前の若者やその保護者に対して、教育機関とも連携しながら、ものづくりのやりがいや県内企業の優れた製品、高い技術等の魅力を伝え、若者をものづくり産業へと導く取組みを行っていく。

《主な取組内容》

- ・ 「ものづくりヤマガタ情報サイト」による、若者等をターゲットとした本県製造業の魅力発信の強化（再掲）
- ・ 「やまがたものづくりガイドブック」等による小学・中学・高校の段階に応じたものづくりに関する県内企業情報の提供（再掲）
- ・ 就業前の人材育成として、小学生から就業までを対象に、科学する心を育て、県内ものづくり産業に触れて知識を深める機会の提供
- ・ 優れた技能・技術のアピールの場である「技能五輪全国大会」、「全国障がい者技能競技大会（全国アビリンピック）」を目指す技能者等に対する支援の実施
- ・ ものづくりマイスター等による企業・高校等での実技指導
- ・ 県立職業能力開発施設における企業ニーズを踏まえた多様な在職者訓練の実施
- ・ 県立職業能力開発施設と専門高校が連携した高校生の技能向上の支援

◎ 若年技術者の育成強化

（施策の展開方向）

- ・ 若手技術者の育成を強化するとともに、幅広く技能の振興・啓発を図る。
- ・ 熟練技術者が持つ優れたものづくり技術の次代を担う若年技術者への承継を支援していく。

《主な取組内容》

- ・ 優れた技能・技術のアピールの場である「技能五輪全国大会」、「全国障がい者技能競技大会（全国アビリンピック）」を目指す技能者等に対する支援の実施（再掲）
- ・ ものづくりマイスター等による企業・高校等での実技指導
- ・ 県立職業能力開発施設における企業ニーズを踏まえた多様な在職者訓練の実施（再掲）

◎ 就業後の人材に対する専門的スキルの養成

（施策の展開方向）

- ・ 就業後における能力向上を図るため、業務内容等に応じて必要な知識・技術が習得できる機会を提供していく。

《主な取組内容》

- ・ 就業後の人材育成として、在職者訓練や専門的な研修の機会の提供

◎ 今後増加する高年齢者への職業訓練の実施

（施策の展開方向）

- ・ シルバー人材センターにおける就業機会の拡大に向けた取組みを支援する。
- ・ 高齢者の就業に向け、関係機関と連携し、職業訓練の機会を提供する。

《主な取組内容》

- ・ シルバー人材センターが実施する高年齢者の新たな就業機会の拡大のための講習等への

支援

- ・ ハローワークと連携し、高齢者の職業訓練の受講を促進
- ・ 高齢者が活躍できる分野における職業訓練の実施

◎ デジタルものづくり人材等の育成

(施策の展開方向)

- ・ 県内企業へのロボットの導入促進を図るため、ロボットシステムインテグレータやデジタルものづくりを推進する人材を育成する。
- ・ 県内企業がAIによる産業競争力の強化を図るため、AI技術の活用について普及啓発を行うとともに、(一社)山形県情報産業協会等と連携しながらAIを実装する技術者を育成する。
- ・ I o T・A I・ロボットなどのデジタル技術を活用して新しい価値を生み出すデジタルトランスフォーメーションを推進するため、高等学校や大学等の教育機関とも連携しながら、次世代デジタルものづくり人材を育成する。

《主な取組内容》

- ・ 「やまがたロボット研究会」でのセミナーや勉強会の実施によるロボットの導入に向けた機運醸成、情報提供の促進
- ・ 研修会等の実施によるロボットシステムインテグレータやデジタルものづくりを推進する人材の育成
- ・ 工業技術センターにおけるロボット関連装置や設備を活用した人材育成
- ・ AI実装技術の習得を目的とした講座や研修等の実施
- ・ 県内企業へのAI導入の促進及び開発力向上を目的としたAI技術者のコミュニティの形成及び活動の支援

◎ ものづくり人材育成の推進

(施策の展開方向)

- ・ 産業界のニーズ、産業構造の変化、I o T・A I等ともものづくりの融合の進展など、ものづくりを取り巻く環境の変化に柔軟に対応できる人材の育成を図る。
- ・ 今後成長が期待される分野に対する経営者の理解を深めるとともに、各分野を担う高度な技術者を育成する。
- ・ 労働者や企業経営者が自らの能力等を高めるための自己啓発の機会を提供していく。
- ・ 異業種との交流を促進することにより、若手人材の向上心を喚起するとともに、新たなビジネスの創出につながる業種の枠にとらわれない発想力等の向上を図る。

《主な取組内容》

- ・ 県内のものづくり人材育成に関する、産業界、教育機関などによる連携体制の構築
- ・ 企業の経営者・後継者を対象とした、マネジメント及び新分野進出等に関する研修の実施
- ・ 成長期待分野を担う高度な技術者の育成に向けた研修等の実施
- ・ 工業技術センターにおける高度研究人材の育成に向けたO R Tの実施

- ・ 企業技術者の高度な技術習得を目指し、基礎から応用に至る生産技術に直結する研修の実施
- ・ 県立職業能力開発短期大学校（産業技術短期大学校及び同庄内校）、県立職業能力開発校（山形職業能力開発専門校及び庄内職業能力開発センター）における、技術動向や地域産業のニーズを踏まえた高度又は専門分野の職業訓練の実施（再掲）
- ・ 県立職業能力開発施設における企業ニーズを踏まえた多様な在職者訓練の実施（再掲）

◎ 科学技術の発展を担う人材育成の推進

（施策の展開方向）

- ・ 若者の科学する心の醸成を、関係機関が一体となって推進し、将来の本県産業を担う人材の育成につなげていく。
- ・ 高校生等を対象とした研究や実験を経験できる機会や成果の発表の場の充実・拡充を図る。
- ・ 県内の優れた若手研究者を表彰することにより、その研究意欲の向上を図り、本県の科学技術を担う若手研究人材の育成に繋げていく。

《主な取組内容》

- ・ バイオ分野の研究を行う全国の高校生が参加する研究発表会の開催を支援
- ・ 県内高校生が取り組む研究活動の質的向上と内容の深化を目的とした課題研究発表会の開催
- ・ 県試験研究機関の若手研究者が取り組む先導的分野や分野融合の研究の奨励による研究力の向上
- ・ 県内企業による高度人材の確保に向けた取組みを支援
- ・ 県内の若手研究者を対象とした「山形県科学技術奨励賞」の授与

◎ 将来の山形の産業を担う「子ども達」の育成

（施策の展開方向）

- ・ 県内の小中学生が、身近なものづくりの魅力に触れることができる機会を充実・拡大し、ものづくりマインドの醸成を図り、将来の本県のものづくり産業を担う産業人材の確保につなげる。
- ・ 県や教育機関、研究機関、産業界、地域コミュニティ等が連携し、少年少女発明クラブの活動、科学イベントの開催、サイエンスインストラクターの派遣等を通じて、身近に科学やものづくりを学ぶ機会の拡充を図る。

《主な取組内容》

- ・ 「少年少女発明クラブ」のクラブ員（はやぶさKIDS）の増加を目指し、県、教育機関、商工団体、企業等の連携による、クラブの新設・体制強化及び活動の充実に対する支援
- ・ 関係機関間の連携による科学・ものづくりに触れる機会の拡充
- ・ サイエンスインストラクターの派遣による科学教室等の開催への支援
- ・ 産業科学館を活用した科学・ものづくりに触れ合う機会の充実

項目	主な取組内容	R2	R3	R4	R5	R6
若い世代に対する技能の承継	小・中・高の段階に応じたものづくりに関する県内企業情報の提供（再掲）	「やまがたものづくりガイドブック」の配布				
	若者等をターゲットとした本県製造業の魅力発信の強化（再掲）	「ものづくりヤマガタ情報サイト」による発信				
若年技術者の育成強化	県立職業能力開発施設における企業ニーズを踏まえた多様な在職者訓練の実施					
	県立職業能力開発施設と専門高校が連携した高校生の技能向上の支援	職業能力開発施設での専門高校教員の研修				
	「技能五輪全国大会」、「全国障がい者技能競技大会(全国アビリンピック)」を目指す技能者等に対する支援の実施	選手育成訓練への助成				
	ものづくりマイスター等による企業・高校等での実技指導	技能検定課題等をテーマに、ものづくりマイスターを始めとした熟練技能者による実技指導				
就業後の人材に対する専門的スキルの養成	就業後の人材育成として、在職者訓練や専門的な研修の機会の提供					
今後増加する高年齢者への職業訓練の実施	シルバー人材センターにおける就業機会の拡大のための講習等への支援					
	高年齢者の職業訓練の実施					
デジタルものづくり人材等の育成	セミナーや勉強会による意識改革、研修等の実施によるデジタルものづくり人材の育成	セミナー、勉強会、研修等の実施				
	県内企業へのAI導入の促進	アドバイザーの設置など				
ものづくり人材育成の推進	工業技術センターにおける研究開発、共同研究、O R T 研修の実施					
	県立職業能力開発施設における技術動向や地域産業のニーズを踏まえた高度又は専門分野の職業訓練の実施					

- ・ 女性向けや、女性が利用しやすい職業訓練の実施（再掲）

◎ 県内企業の設備投資の促進

（施策の展開方向）

- ・ 県内投資を促進する各種制度を充実・活用していく。
- ・ 政府の地方創生に係る企業の地方拠点強化に対する取組みを踏まえ、若者や女性等が能力を活かすことができる企業の本社機能・研究開発機能等の拡充を促進する。

《主な取組内容》

- ・ 企業活動の動向に的確に対応した企業立地促進補助金の充実・強化
- ・ 地域再生法や地域未来投資促進法による税制優遇制度等の積極的な活用
- ・ 企業との懇談会や立地企業への訪問活動を通じた企業ニーズの把握及びフォローアップ

◎ 若者や高度人材の活躍の場となる企業・事業所の誘致

（施策の展開方向）

- ・ 本県の強みや優位性を活かしながら人口流出を抑制し、雇用の安定化を図るための企業誘致を展開する。
- ・ 大学、高等専門学校の卒業者の大部分が県外に就職している状況にあることから、若者や女性、Uターン者、大卒者等の受け皿となる企業の本社機能・研究開発機能等の積極的な誘致を推進する。（再掲）
- ・ 機会を捉えたトップセールスや、首都圏におけるセミナーの実施等、企業に対する情報提供、PRを強化する。
- ・ 県内投資を促進する各種制度を充実・活用していく。（再掲）

《主な取組内容》

- ・ 強みを活かせる分野や若者が活躍できる部門を中心としたターゲット企業の選定及び継続的な個別訪問の実施
- ・ 今後の成長が見込まれる分野等における投資情報収集のための、信用調査機関のノウハウ等を活かした調査の実施
- ・ 企業活動の動向に的確に対応した企業立地促進補助金の充実・強化（再掲）
- ・ 地域再生法や地域未来投資促進法による税制優遇制度等の積極的な活用（再掲）

項目	主な取組内容	R2	R3	R4	R5	R6
ワークライフバランスが確保できる職場環境の整備	社会保険労務士等が企業訪問し、多様で柔軟な働き方の普及啓発・助言を実施					→
	「WEB労働やまがた」による先進事例の発信強化					→

女性にも魅力的な就業の場の創出・拡大	コーディネーターの企業訪問による女性の就業環境の改善促進や雇用機会の確保					→
県内企業の設備投資の促進	企業活動の動向に的確に対応できる企業立地促進補助金の充実・強化					→
	懇談会や立地企業への訪問活動を通じた企業ニーズの把握及びフォローアップ					→
若者や高度人材の活躍の場となる企業・事業所の誘致	ターゲット企業への継続的な個別訪問の展開					→
	若者や女性、首都圏からのUターン者等の受け皿となる企業の本社機能・研究開発機能の誘致促進（再掲）					→